

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科			臨床工学技士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習	
科 目 名			レポート作成演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年			1年次		学期及び曜時限	後期	教室名	各教室
担 当 教 員			岡本 覚	実務経験と その関連資格	島根大学大学院総合理工学研究科情報システム学領域の教授として機械情報工学の教育・研究に従事(22年)。工学博士。島根大学や放送大学の非常勤講師を経験。島根大学名誉教授。			
《授業科目における学習内容》								
学内実習におけるレポート及び臨床実習におけるレポートの作成を学び、実行することができる								
《成績評価の方法と基準》								
毎回のレポート課題を評価とする。								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
配布プリント等								
《授業外における学習方法》								
授業を通じて学んだことでレポートを作成すること								
《履修に当たっての留意点》								
誤字脱字がないように提出前に見直すこと								
授業の 方法			内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	様々なレポートを書く時の基礎を学び理解する			配布プリントなど		
		各コマに おける 授業予定	レポートの書き方(1)					
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	基本的なレポートの書き方を実践する			配布プリントなど	学んだ内容を活かしてレ ポートを提出	
		各コマに おける 授業予定	レポートの書き方(2)					
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	テーマについてや書き方の手順を確認できる			配布プリントなど	学んだ内容を活かしてレ ポートを提出	
		各コマに おける 授業予定	テーマと方向性の確認(1)					
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	手順を理解しレポートの書き方を実践できる			配布プリントなど	学んだ内容を活かしてレ ポートを提出	
		各コマに おける 授業予定	テーマと方向性の確認(2)					
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	レポートに必要な資料の集め方を学ぶ			配布プリントなど	学んだ内容を活かしてレ ポートを提出	
		各コマに おける 授業予定	資料探索					

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	レポートの構成や参考文献の書き方について理解する	配布プリントなど	学んだ内容を活かしてレポートを提出
		各コマにおける授業予定	レポートの構成		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	レポートの形式上のスタイル、たとえば注の付け方とか参考文献の引用の仕方など論文の基本的なルールについて理解する	配布プリントなど	学んだ内容を活かしてレポートを提出
		各コマにおける授業予定	レポートの基本ルール		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	実際のテーマに沿ってレポートを書くことができる	配布プリントなど	学んだ内容を活かしてレポートを提出
		各コマにおける授業予定	総まとめ		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			